

据置台工事説明書

型式名

S D - 5 5 0 2

表示について （表示の意味は次のようになっています。）

注意 作業を誤った場合に作業者が、またはその作業後の製品の不具合によって使用者等が、
傷害を負う可能性および物的損害のみの発生が想定される内容を示しています。

注意 工事される方へのお願い

この据置台は、専用機種に使用してください。
機器を安全に正しくご使用いただくために、この
工事説明書をよくお読みになり正しく施工してく
ださい。

1

同梱部品の確認

品 番	品 名	個 数
①	据置台	1
②	ネジ(トラスM4 X 1 0)	6
③	壁固定金具	1
④	固定板上	1
⑤	固定板下	1
⑥	工事説明書	1
⑦	壁固定座金(小)	2
⑧	壁固定座金(大)	2
⑨	プラグ(S X 6 X 3 0)	2
⑩	丸木ネジφ4 . 8 X 3 8	2
⑪	絶縁ワッシャー	2
⑫	絶縁プレート	2

2

設置前の注意

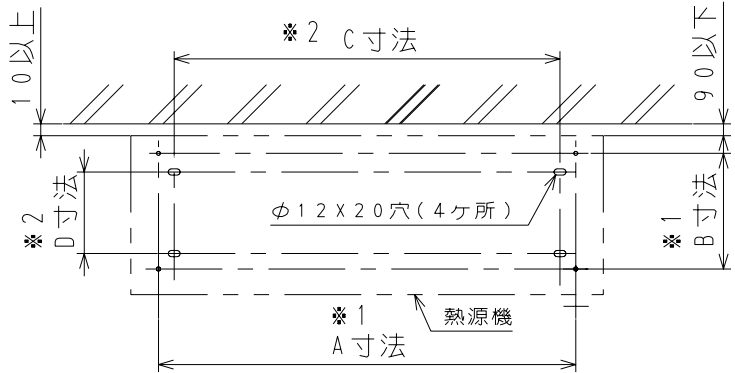
据置台を設置してから、機器本体を取り付けてください。

3

取 付 方 法

右壁設置の場合

- (1) 据置台を置く床面は平らにし、水はけをよくしてく
ださい。また、脚はセメントなどで埋めこまないで
ください。
- (2) 据置台は耐火耐熱材の上に水平に据え付けてくだ
さい。約3°迄の傾斜の場合はアジャストボルト(各
脚共10mm)で調整できます。



※1 . 据置台アジャストボルトの位置

A 寸法	B 寸法
327	222

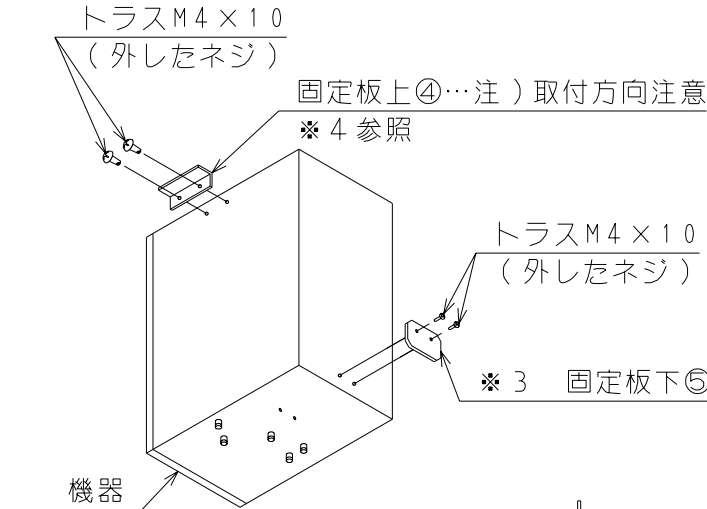
9 0 B 0 2 6 - 2

(単位 : mm)

※2 . φ12 X 2 0 穴(コンクリートベース直取付用) の位置

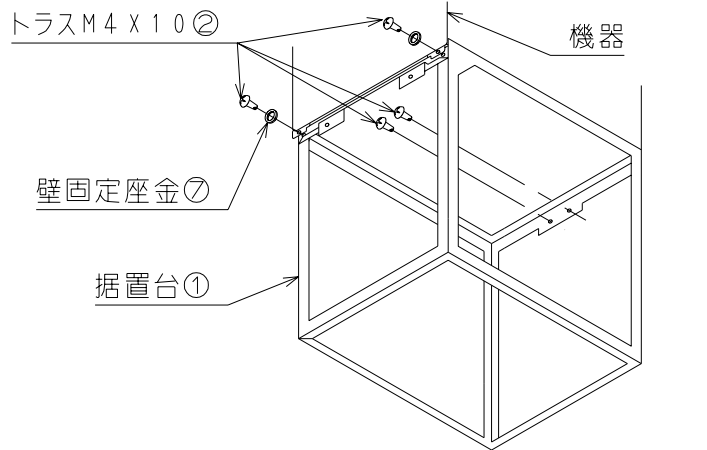
C 寸法	D 寸法
280	198

(3) 機器上部(ネジ2本) 下部(ネジ2本) を外し、
上部に固定板上④(ネジ2本)、下部に固定板下⑤
(ネジ2本) を取り付けてください。

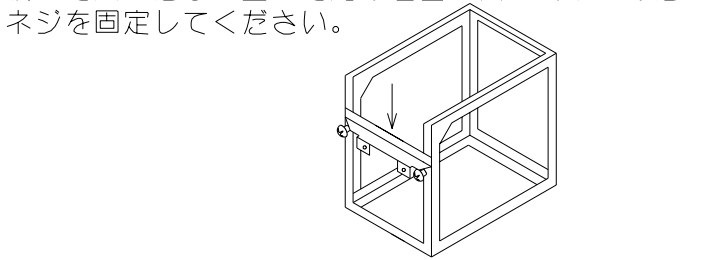


※3 . 固定板下⑤の向きに注意して
ください。
パーリングの出ている側を
外側にして取り付けてください。

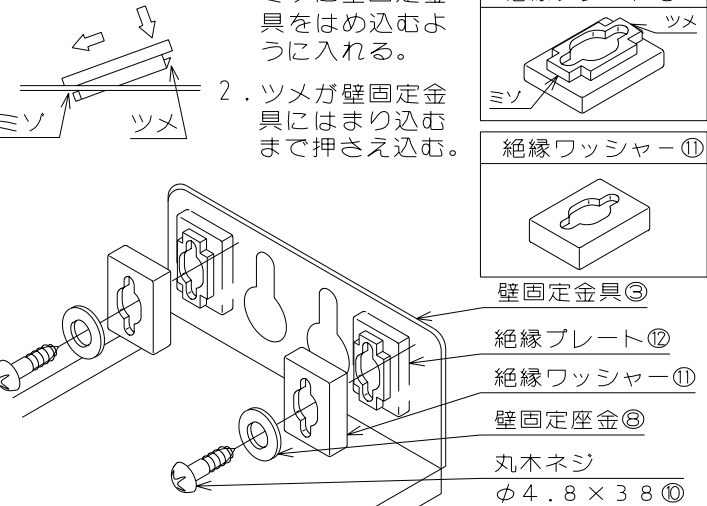
(4) 据置台フロントカバーの化粧ネジ(2 本) を外し
し前方を機器下部左右のP S 金具の長穴を利用し
てトラスM4 X 1 0 ②(ネジ2本) 壁固定座金⑦、
後方をトラスM4 X 1 0 ②(ネジ2本) で、機器
(固定板下⑤) と据置台を固定してください。



●据置台上枠のトラスM4 X 1 0 (ネジ2本) を
ゆるめて、上枠をスライドさせて下げるにより、
機器が乗せやすくなります。
配管が据置台に乗り上げないように注意しながら作業
してください。
機器を乗せたら、上枠を元の位置に戻してゆるめた
ネジを固定してください。

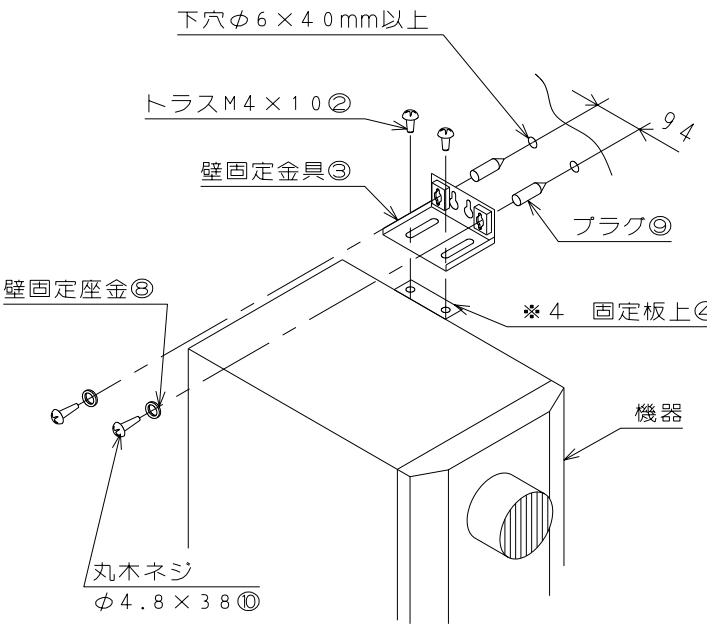


(5) 絶縁部品を次の要領で必ず取り付けてください。
a) 壁固定金具③に後面より絶縁プレート⑫をはめ込みます。
b) 絶縁ワッシャー⑪をかぶせて丸木ネジφ4 . 8 X 3 8 ⑩
で固定します。

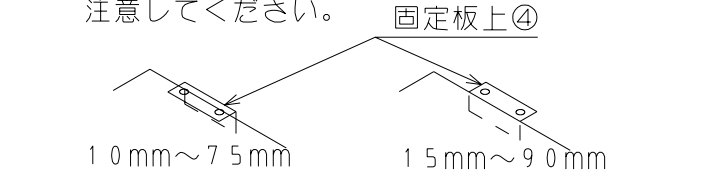


(6) 壁固定金具③を取り付けるときは壁との距離を調整
してからネジ2本で固定板上④に固定してください。
次に壁固定座金⑧および丸木ネジφ4 . 8 X 3 8 ⑩
にて壁と固定してください。
(モルタル、コンクリート壁等の場合は先にプラグ⑨を
壁に打ち込んでください。)

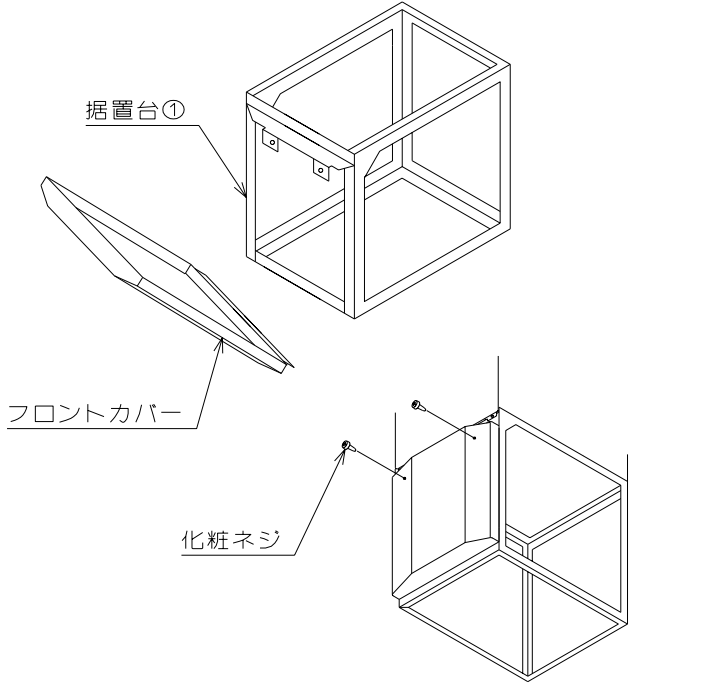
壁からの距離は10～90mmの範囲です。



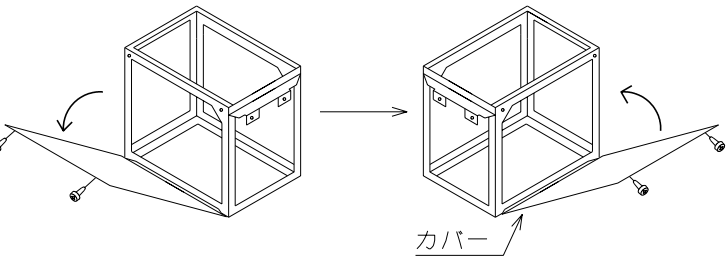
※4 . 固定板上④の向きにより取付範囲が異なるので、
注意してください。



(7) 据置台①のフロントカバーを取り付けてください。
フロントカバー下部の段差を据置台①の枠に差
し込み、フロントカバーを立ち上げて化粧ネジ
(2 本) で止めてください。



左壁設置の場合



- (Ⅰ) 据置台①側面のカバーの化粧ネジ2本を外し、取り外す。
(Ⅱ) 外したカバーを反対側の側面に、外した化粧ネジ2本で
取り付ける。
(Ⅲ) 右壁設置の場合と同様に(1)～(7)の作業を行う。
この時、壁固定金具③、固定板上④は右壁設置の時の反対側に
取り付ける。

注意 安全上の注意

据置台のフロントカバーと横のカバーをしっかりと閉め、がたつきの
無いことを確認してください。下部差込箇所が外れていないことを
確認したうえで、化粧ネジをしっかりと締めてください。

製造元

パーパス株式会社

静岡県富士市西柏原新田201 ☎417-8505